

函館工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	コミュニケーション英語特講
<b>科目基礎情報</b>					
科目番号	0436	科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	物質環境工学科	対象学年	4		
開設期	前期	週時間数	2		
教科書/教材	Presentations to Go: Building Presentation Skills for Your Future Career				
担当教員	白田 悦之				
<b>到達目標</b>					
1. プレゼンテーションの計画書・企画書が書ける 2. プレゼンテーションの原稿とスライドを作成できる 3. プレゼンテーションができる 4. 自分のプレゼンテーションを振り返り次回に活かすことができる					
<b>ルーブリック</b>					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	プレゼンテーションの詳しい計画書・企画書が書ける	プレゼンテーションの大まかな計画書・企画書が書ける	プレゼンテーションの計画書・企画書が不十分である		
評価項目2	プレゼンテーションの原稿とスライドをていねいに作成できる	プレゼンテーションの原稿とスライドを作成できる	プレゼンテーションの原稿とスライドが不十分である		
評価項目3	人前で、Speech Message, Visual Message, Physical Messageに気をつけてプレゼンテーションが出来る	人前で、Speech Message, Visual Messageに気をつけてプレゼンテーションが出来る	人前でプレゼンテーションが出来ない		
評価項目4	自分のプレゼンテーションを振り返り次回につまかく活かせる	自分のプレゼンテーションを振り返り次回に活かせる	自分のプレゼンテーションを振り返っても次回につまかく活かせない		
<b>学科の到達目標項目との関係</b>					
函館高専教育目標 E					
<b>教育方法等</b>					
概要	本講義では英語を使うことを主眼に置き、今まで培ってきた英語の知識や技能を活かしてプレゼンテーションを中心に学ぶ。英語のプレゼンテーションの作成から実施までの方法を学び、与えられたテーマについて実際に人前でプレゼンテーションを実施する。ブレインストーミング、構想、調査、スライド作成、原稿書き、英語を覚える、プレゼンテーション、振り返りまでを行い、大学や社会でも役立つ英語での発表技能を身につける。				
授業の進め方・方法	※この講義内容は全てコアカリキュラムの内容に基づいている 以下の項目は、プレゼンテーションの心構えとして留意するように 1. 計画書・企画書・原稿作成・スライド作成は手際よくやり、あまり時間をとられないように 2. 原稿を覚えるのにしっかりと時間をかけるように 3. 発表の際はカタカナ英語にならないよう、英語らしい発音を心がけること (毎日音読練習をすること) 4. Physical Message、とくにeye contactを大切にす				
注意点	※地方、全国のプレゼンテーション大会 (本校のプロゼロ含む) に参加し英語で発表した場合、ボーナス点40点を与える				
<b>授業計画</b>					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	・ガイダンス ・Project: Introducing Yourself (Step1)	・学習の到達目標、学習内容、および留意点を理解できる ・英語で自己紹介する効果的な方法を理解できる	
		2週	・Project: Introducing Yourself (Step2)	・英語で自己紹介する計画・準備ができる	
		3週	・Project: Introducing Yourself (Step3)	・自己紹介用のパワーポイントのスライドを作成できる	
		4週	・Project: Introducing Yourself (Step4)	・留学生が混じるクラスでの初回の授業という設定で、スライドを使いながら英語で自己紹介できる ・自分の発表を振り返ることができる ・他の人の発表を評価できる	
		5週	・Project: Introducing Japan (Step1)	・日本の魅力を世界に紹介し、広報・宣伝するプレゼンテーションの方法を理解できる	
		6週	・Project: Introducing Japan (Step2)	・日本紹介のプレゼンテーションの計画・準備をグループで出来る	
		7週	・Project: Introducing Japan (Step3)	・日本紹介用のパワーポイントのスライドを作成できる	
		8週	中間試験 (日本紹介のグループプレゼンテーション)		
	2ndQ	9週	・Project: Discussing Social Issues (Step1)	・身近な社会問題とその解決策を伝えるプレゼンテーションの方法を理解できる	
		10週	・Project: Discussing Social Issues (Step2)	・身近な社会問題とその解決策を伝えるプレゼンテーションの準備をグループで出来る	
		11週	・Project: Discussing Social Issues (Step3)	・パワーポイントのスライドを作成できる	
		12週	・Project: Discussing Social Issues (Step4)	・大学生の国際カンファレンスでの発表という設定で、スライドを使いながら社会問題とその解決策をグループでプレゼンテーションできる ・自分の発表を振り返ることができる ・他の人の発表を評価できる	
		13週	・Project: Talking About Your Future Plan (Step1)	・自分の将来についてプレゼンテーションする方法を理解でき、準備できる	
		14週	・Project: Talking About Your Future Plan (Step2)	・パワーポイントのスライドを作成し、プレゼンテーションの準備ができる	
		15週	期末試験 (自分の将来についてのプレゼンテーション)		

	16週	・振り返り、自己評価			・自分の発表を振り返り、自己評価できる		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	計画書・企画書	スライド・原稿	合計
総合評価割合	0	60	0	0	10	30	100
基礎的能力	0	60	0	0	10	30	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0